

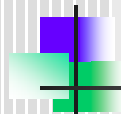


## サービス設計のベストプラクティス

2006年12月11日

ビジネスイノベーション研究部会 & SOA部会

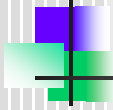
サービス設計ベストプラクティスWG



## 本日の内容



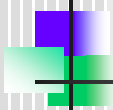
- 活動の中間報告
  - 当WGでの活動目標及び現時点までの検討内容についてご紹介します。



## SOAに対する理解



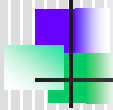
- SOAの考え方(コンセプト)は浸透してきた
  - 現実的な構築手法は未だ確立されていない
- サービス指向アーキテクチャーであるからには、“サービス”が重要
  - どのようにして定義するか？
  - どのようにして実装するか？
- SOAではビジネスモデリングが重要
  - ビジネス上の課題に対するトレーサビリティ



## サービス設計のBest Practice



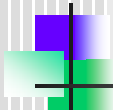
- 当WGの活動目標
  - 目的：SOAにおけるサービスの捉え方及びその設計に関するベストプラクティス検討及び提示
    - 現時点において、SOAにおける“サービス”の捉え方に画一的な標準手法は存在しません。参加者のこれまでの経験/知識を踏まえて、“サービスとは”を再確認すると共に、その設計におけるポイントを検討します。



## メンバー一覧



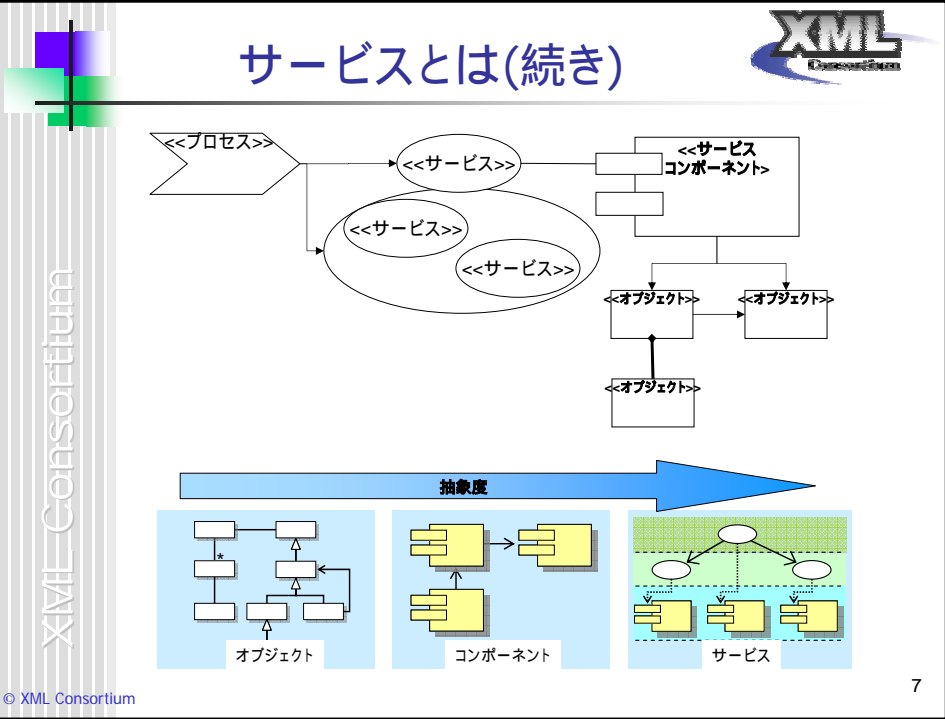
- メンバー (五十音順、敬称略)
  - 天野 富夫 日本アイ・ビー・エム(株)
  - 河原 正博 沖電気工業(株)
  - 竹内 拓也 (株)日立製作所
  - 中村 知義 (株)ジャステック
  - 日力 俊彦 日本アイ・ビー・エム(株)



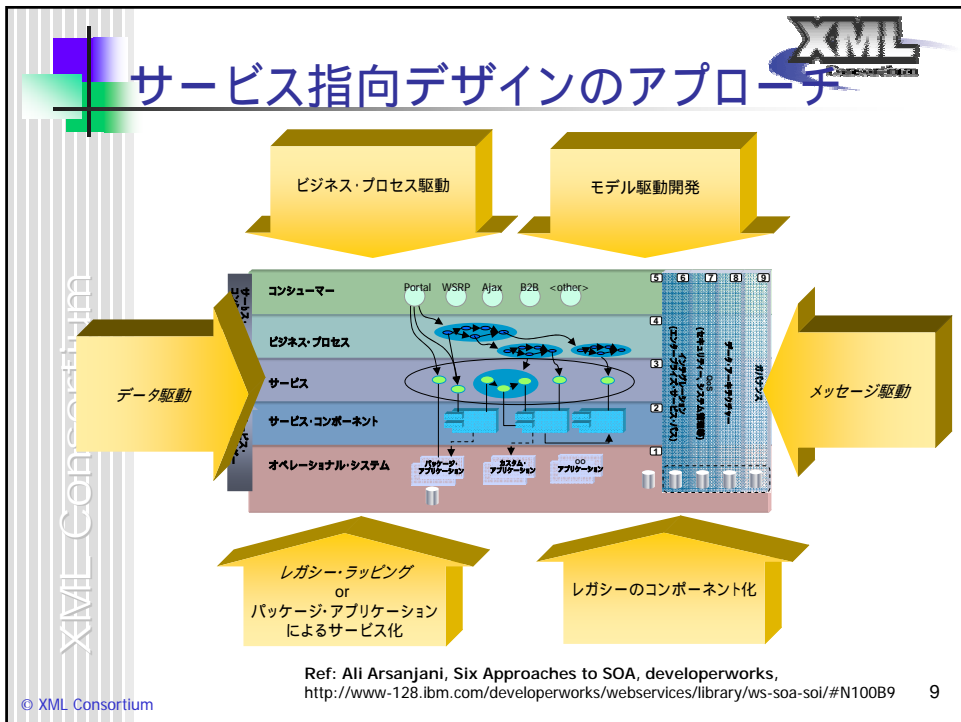
## サービスとは



- サービスはSOAが定義する主要な要素の一つ
  - サービス・プロバイダー
  - サービス・リクエスター
  - サービス
- 業務の処理単位を論理的に記述したもの
- Well-Known, Well-Definedなインターフェースにより公開され、発見可能(discoverable)である
  - 必ずしもWebサービスである必要はない
- 再利用の単位
  - サービスのExtension Pointでもある



- # 契約に基づく設計 (DbC)
- ダイクストラが基本的な考え方を提唱
    - "A Discipline of Programming" by Edsger. W. Dijkstra (1976年)
  - ソフトウェア・モジュールが満たすべき制約(契約)を明確に定義
    - 事前条件
      - メソッドが呼び出される直前で、メソッドが仮定している条件
    - 事後条件
      - メソッド呼び出し終了直後に成立しているべき条件
    - 不変条件
- XML Consortium
- © XML Consortium 8



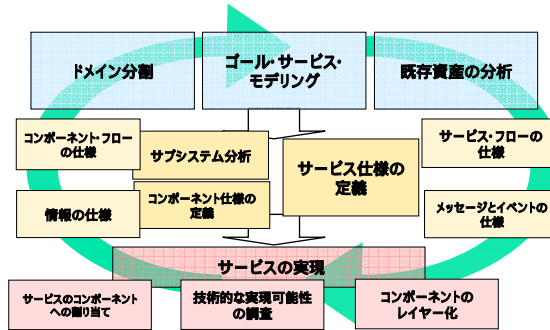
- ## 現実的なアプローチ
- トップダウンもしくはボトムアップによるアプローチ
  - 機能を分析することにより、サービスの候補が識別される
  - 非機能要求 (NFR) をどのように実現するかによりサービスの粒度を検討する
  - DbCによるインターフェースの分離
  - BPELを使用したビジネスプロセスでは、フロー制御をサービスから分離する
- 10
- © XML Consortium



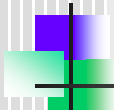
# SOMA



- ビジネス分析により導出されたビジネスコンポーネントをもとに、SOA実装へ繋げる為のメソッドロジー



出典 : <http://www-128.ibm.com/developerworks/webservices/library/ws-soa-design1/>



# BPELアンチパターン例



- ビジネス・プロセス・エンジン内でUI syntax validationは行わない
- Syntax validationはビジネス・プロセスの前段 (プレゼンテーション・レイヤー)で行う



## まとめ



- SOAにおけるサービスをどのように捉え、設計していくかはまだこれからの領域
  - “サービス”としての評価軸を策定
- 出来るだけ多くの方々との経験と知識の共有が必要
- ご興味のある方(あるいは持った方)は是非、当WGへ飛び込んで来てください  
(参加者募集中！)